

第73回北日本図書館大会北海道大会・第62回北海道図書館大会 (オンライン大会) 開催要項

1 趣 旨

北日本地区の図書館関係者等が一堂に会し、当面する今日的課題について研究協議を行い、共通理解を深め、高度化・多様化する利用者および住民の要望や社会の要請に応える図書館活動の充実と発展に寄与することを目的とし、図書館大会を開催します。

今大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「新北海道スタイル」に取り組み、ウェブ上の動画配信により行います。

2 テーマ「縄文遺産からICTへ～図書館がつなぐ時代、場所、人～」

時代を越えて情報を蓄積・活用する図書館、デジタルによりどこからでも資料にアクセスできる図書館、そして、人が集う場所としての図書館。「知の拠点」である図書館の活動は、さまざまな資料と人をつなぐ活動とも言えます。「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を受け、歴史や文化、地域資源を活かした図書館活動の幅広い可能性を考えます。

3 主 催

北日本図書館連盟

北海道教育委員会

北海道図書館連絡会議

北海道図書館振興協議会、北海道地区大学図書館協議会、私立短期大学図書館協議会北海道地区協議会、北海道学校図書館協会、専門図書館協議会（北海道地区連絡会）

4 後 援（予定） 北海道、公益社団法人日本図書館協会

5 協 賛（未定）

6 開催方法 オンラインで開催（オンデマンド動画配信〔一部ライブ配信〕）

7 配信日程 令和4年（2022年）6月8日（水）～7月15日（金）公開 初日（6/8）は10：00公開開始、最終日（7/15）は16：00公開終了

■ 6月8日（水）13：30から基調講演のライブ配信を行います。

- ・Zoom ウェビナーを利用します（視聴にはメールアドレスが必要です）。
- ・後日アーカイブ動画を配信予定です。

■ 事前に収録した各コンテンツ（基調講演以外）は、6月8日以降順次配信を開始します。

8 対 象 者

公共図書館・公民館・大学図書館・短期大学図書館・学校図書館・専門図書館・市町村教育委員会等関係機関の職員、図書館協議会委員、図書館に興味のある方等

■大会事務局（お問い合わせ先）

北海道図書館連絡会議事務局（北海道図書館振興協議会事務局）

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

北海道立図書館 総務企画部 企画支援課内

TEL 011-386-8521 FAX 011-386-6906

E-mail shienka@library.pref.hokkaido.jp

◆ 基調講演

演題 「“ライブラリー・ダイバー” ～世界遺産『縄文』の意義を図書館で探す～」

2021年7月、縄文遺跡群が世界遺産に登録されました。でも何がすごいのか、正直言ってわからない。きっと多くの人がそう思っています。「ならば教えて進ぜよう」と言ってはおこがましいので、私にそれを教えてくれた本たちを紹介したいと思います。

とは言っても、考古学や世界遺産の本とは限りません。土壌のでき方から魚の種類、人の心理や美の定義…、あらゆることが関連します。私は縄文人の姿を見るために、図書館という海に潜ります。皆さんには、船長の立場でダイバーを見守っていただければ幸いです。

講師 東北芸術工科大学准教授 青野友哉氏

〔プロフィール〕

青野 友哉 (あおの ともや)

東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科准教授

1972年、北海道小樽市生まれ。明治大学文学部史学地理学科考古学専攻卒業。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)北海道大学。

伊達市噴火湾文化研究所・学芸員、室蘭工業大学大学院・非常勤講師、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会・学識顧問を歴任。2019年4月より現職。

2014年、『北の自然を生きる縄文人 北黄金貝塚』(新泉社)を刊行。2015年、『墓の社会的機能の考古学』(同成社 2013年2月刊)で第5回日本考古学協会奨励賞受賞。

趣味は低温殺菌牛乳の味くらべと牛乳瓶コレクション。



基調講演ライブ配信 6月8日(水) 13:30～15:00【90分予定】

※ Zoom ウェビナー視聴 URL は、大会参加申込者にお知らせします。

※ アーカイブ配信の開始日は、大会ホームページでご確認ください。

◆ トピック

○ 「世界の宝『縄文(JOMON)』を通じた函館の地域活動」

2019年、産学官民の有志が集い設立した「縄文DOHNANプロジェクト」は縄文の魅力を楽しく伝える「動く部隊」として、試行錯誤を繰り返しながら、行政・民間団体・企業等とも連携し、世界遺産登録に向けた地域の機運醸成を図るため、縄文のPRに向けた各種取組を進めてきました。また、登録後は海外の方々の理解促進や来訪に繋げていくため、縄文紙芝居の多言語化を進めるとともに、縄文を通じた愛郷心を育むための取組などを展開しています。

今回は、当プロジェクトの発足経緯やこれまでの取組事例の紹介のほか、地域資源や郷土の歴史を伝える資料の活用にあたって、図書館にお願いしたいことなどをお話しさせていただきます。

情報提供：縄文DOHNANプロジェクト代表

山田 かおり 氏

○ 北海道内 新館紹介

室蘭市図書館(令和3年12月開館)、古平町図書館(令和4年5月開館予定)



○ **第1分科会「社会に開かれたコレクションの系譜～北海道大学附属図書館北方資料～」**

北海道大学附属図書館には、「北方資料」というコレクションがあります。一次資料を豊富に含んだ日本北方域、サハリン、千島、シベリア等といった地域の文献・画像資料コレクションとしては質量ともに世界的な規模を誇ります。このコレクションは現在、デジタル公開が進んでいますが、以前から社会に開かれた閲覧対応をとってきた歴史がありました。大学図書館と社会との関係の歴史として、振り返ってみたいと思います。

講 師：北海道大学教授

谷 本 晃 久 氏

○ **第2分科会「絵本が紡ぐフォークロア～現代絵本に描かれてきたもの～」**

世代を超えて読み継がれる絵本のなかには、「時代」の影響を色濃く反映した作品が多くあります。それでもなお「時代」を感じさせない要因は何なのか。その一方で、「時代」を軸に巻き起こる論争にどんな答えを出すのか。現代絵本の変遷をたどりながら、それぞれが考える契機を提供したいと思います。

講 師：帯广大谷短期大学附属図書館司書、絵本専門士

水 野 有 子 氏

○ **第3分科会「『地域』にとって公共図書館はどのような存在か」**

公共図書館は地域内の学校図書館や他の教育・社会教育施設に対して、どのような立場でどのようにかかわっていくべきでしょうか。「接続や協働が大切と言われるけど、実際どう動いていいのかわからない」という現場の声は少なくありません。読書環境の整備のあり方を自治体や振興局圏といった包括的な視点で捉えながら、知識基盤社会における公共図書館の役割について考えてみましょう。

講 師：北海道ブックシェアリング代表理事

荒 井 宏 明 氏

○ **第4分科会「ネット文化資源の読み方・作り方」**

インターネット環境において、歴史資料や地域資料などの文化資源のコレクションをバーチャル空間に作り上げる営みの事例や、デジタル・ヒューマニティーズの最新動向、情報発信にまつわる諸問題などを紹介しつつ、文化を残すとはどういうことなのか、何をどう残していけばいいのか、一緒に考えてみたいと思います。

講 師：北海学園大学講師

岡 田 一 祐 氏

○ **第5分科会「図書館が伝える地域の歴史～アイヌ文化を伝える～」**

縄文時代の後、北海道では本州と異なる独自の文化が展開し、続縄文、擦文、そしてオホーツク文化、アイヌ文化へとつながります。北海道の地名にはアイヌ語を語源とするものも多くあり、一時的なブームではなく、身近な地域の歴史として図書館でも継続して扱うべきテーマの1つと言えます。アイヌ文化を題材に、各図書館の取組や連携の事例を共有し、地域の歴史を伝えるためにできることのヒントを見つけてみましょう。

事例発表：北海道立図書館利用サービス部北方資料室北方資料サービス課
恵庭市立図書館、白老町立図書館、平取町立図書館

第 73 回北日本図書館大会北海道大会・第 62 回北海道図書館大会（オンライン大会） 参加のご案内

参加申込み

申込期間 令和 4 年（2022 年）4 月 19 日（火）～5 月 25 日（水）

申込方法 インターネット（スマートフォンも可）でお申込みください。

※ 電話・FAX は受付できません。

下記アドレスまたはQRコードから、大会サイトにアクセスしてください。

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/doc/taikai2022/index.html>

リンク及びQRコードは、北海道立図書館ホームページにも掲載しています。

<https://www.library.pref.hokkaido.jp>

受付確認 受付完了返信メールをご確認ください。

※お申込みから1週間たっても返信がない場合は、大会事務局にご連絡ください。



参加費

参加費（資料代） 1,000 円 ・参加者1名につき、1,000 円の参加費をいただきます。
・大会終了後に大会記録誌を送付します（10 月末発行予定）。
・請求書、領収書が必要な方は大会事務局にお問い合わせください。

支払期限 令和 4 年（2022 年）5 月 25 日（水）

支払方法 銀行振込（振込手数料はお申込者様ご負担でお願いします）

【振込先】

銀行名：北海道銀行 大麻支店

口座番号：（普通）0158600 口座名：北海道図書館振興協議会

変更・キャンセル

変更・キャンセルは大会事務局に直接ご連絡ください。

なお、お申込みをキャンセルされた場合でも、参加費の返金はいたしかねますので予めご了承ください。

視聴できる内容

基調講演、トピック、第1～5分科会 ※6月8日以降順次配信を開始します。

視聴方法

公開期間 令和 4 年（2022 年）6 月 8 日（水）10：00～7 月 15 日（金）16：00

視聴方法 改めて大会サイトにのご案内いたします。

※個人用大会視聴パスワード等は5月31日以降順次メールで送信予定です。公開期間になりましたら、各自でアクセスしてください。

メールが届かない場合は、6月3日以降、大会事務局にご連絡ください。

■大会事務局（お問い合わせ先）

北海道立図書館 総務企画部 企画支援課内

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

E-mail shienka@library.pref.hokkaido.jp